

## 議会報告会報告書

1. 開催地区名 戸賀地区
2. 開催日時 令和6年8月3日(土) 10時00分から11時25分まで
3. 出席議員 小松 穂積(職務代理者)  
吉田 清孝 進藤 優子 田井 博之
4. 参加者数 12名

### 5. 意見・要望等

#### (1) 議会に対する事項

- ① 主要地方道男鹿半島線(桜島・門前間)の支障木について、今すぐ現状を確認していただきたい。
- ② 議会報告会の意見・要望等に対する回答については、どの程度の期間を要するのか。

#### (2) 市政に対する事項

- ① 頻発化する豪雨によって河川から海に流入した木やごみが海岸に漂着することが多くなってきているが、運搬費用を含めた関連対策予算をあらかじめ確保し、住民に示していくべきではないか。
- ② 戸賀海岸防風林における松枯れ対応について、マーキングはされているものの要望してから長期間放置されており、倒木等の危険性が懸念される。計画や工程を示すなど取組方を明確にしていきたい。県港湾事務所管理という縦割りでなくして、市としても自分事として取り組んでいただきたい。
- ③ 主要地方道男鹿半島線(桜島・門前間)について、樹木の枝が両側から道路に覆い被さり、バスやトラックが道路中央を通行せざるを得ず、カーブが続く箇所は非常に危険である。加茂青砂地区の生活道路であることから早急に枝払い対策を講じていただきたい。

- ④ 市道穴ノ沢・小沢線について、樹木の枝が両側から道路に覆い被さっており、以前から枝払いの要望はしているものの、敷地所有者の許可を得なければならぬとの事由から実施に至っていない。災害等の非常時を想定し、いかなる車両も通行できるよう逃げ道として整備しておくべきである。
- ⑤ 菅原市長が就任以降、イトク等をはじめとするハード整備事業が脇本・船越方面に偏っているように感じる。
- ⑥ 確かに沿道の草刈りは定期的には実施しているが、問題は支障木の枝払いである。大型重機等で対応しなければ解決できないのではないかと。
- ⑦ 公衆トイレの使用頻度から半島北部への観光周遊を考察すると、入道崎は一定数の観光客が訪れているものの、西海岸ルートである桜島や八望台は素通りされている傾向にあることから、さらなる観光プロモーションが必要と考える。
- ⑧ 大滝川下流の河口付近について、上流のダムから流れてくる泥水によって砂が滞留し、雑草が繁茂してきている。数か年間隔で市建設課から浚渫を実施していただいているが、大雨時における越水の危険性が増してきている状況を踏まえ、ぜひ今年度に対応していただきたい。
- ⑨ 市道小沢・戸賀線について、複数のU字溝が沈下して凹凸のある路面になっていることから修繕していただきたい。
- ⑩ 加茂青砂地区へ下る道路カーブ付近に松枯れの樹木があり、倒木の危険性が生じている。数年前から伐採の要望はしているものの、マーキングされただけで連絡もない状況である。倒木して道路を塞いだ場合、集落が孤立する恐れもあることから早急に対応していただきたい。
- ⑪ 浜塩谷から浜中における防災行政無線の難聴地域について、情報の多重化としている戸別受信機も電波を受信できず、防災情報メール配信サービスの利用もデジタルに不慣れな高齢者は難しい。防災行政無線はこの地域にとって非常に重要な情報源であることから、中継局を新設するなど根本的な解決策を示していただきたい。また、対応方の途中経過を逐次報告していただきたい旨、担当課には伝えてあるものの、連絡が一切ない状況である。

## 6. 特記事項

### ■協議等が必要な事項

#### (1) 議会に対する事項

なし

**(2) 市政に対する事項**

5. (2)のうち、②、③、④、⑧、⑨、⑩、⑪の事項について